

国際会議から 第10回太平洋地震工学会議 (PCEE)

本会議は、太平洋地域における地震工学全般に関わる国際会議で毎年開催されており、今回で10回目となります。今回筆者は、新しい地盤の動的解析法について発表を行いました。

地震工学という分野は、強震動予測や地震ハザードといった作用に関する研究や振動台実験や数値解析に基づく応答評価、部材の耐力評価、耐震設計法などさまざまな内容が含まれます。本



ティーブレイクの様子



会場となった Menzies Hotel

会議では、それらの多岐に渡る内容の講演が行われるとともに、活発な議論が交わされていました。基調講演では、スタンフォード大学の Jack W. Baker 准教授が性能設計を行う際の地震動の



坂井公俊
鉄道地震工学研究センター
地震動力学研究室
副主任研究員

考え方について講演をされました。我々が現在取り組んでいる課題のヒントになりそうな内容であり、今後スタンフォード大学と活発に議論をしていく意義を感じました。

また、会場が明るく落ち着いた雰囲気であり、テーブルブレイクにおいても積極的に意見交換が行われ、私が日本人だと分かると、「日本の耐震設計では…」といった質問を多く受け、日本がどのような思想で設計を行っているのか、各国の研究者から強い興味を持たれていることを肌で感じる事ができました。

正式名称：Tenth Pacific Conference on Earthquake Engineering
 開催国：オーストラリア(シドニー)
 期間：2015/11/6-8
 主催：Australian Earthquake Engineering Society & New Zealand Society for Earthquake Engineering
 開催頻度：1回/1年
 次回開催予定：2016年 ニュージーランド
 ホームページURL：http://www.aees.org.au/10pcee/

国際会議から 車両用電源および駆動に関する国際会議 (VPPC2015)

2015年10月19日から同月22日までの4日間の日程で、VPPC (Vehicle Power and Propulsion Conference) 2015がカナダのモントリオールで開催され、参加しました。VPPCはIEEE (アメリカ電気電子学会) が主催する会議で、将来の交通システムにおける省エネ技術を開発・促進するために知識や経験、画期的なアイデアを世界中の研究者で共有する目的で年に1回開催されています。輸送機関全体を対象とした会議ですが、約220の発表の内ほとんどが自動車に関する研究内容であり、近年注目を集めている燃料電池車や水素エンジン自動車、ハイブリッド自動車の省エネ技術に関する研究発表が多く、質疑応答に関してもすぐさま複数の質問が飛び交い、活発な議論を繰り広



発表会場風景

げていました。その中で筆者は、エネルギー部門のセッションにて「バッテリー電車の駆動用電池を対象とした熱回路モデルの検証」に関する発表を行いました。聴講者の多くが蓄電池の研究者ということもあり、質疑応答の際も即座に駆動用電池に関する質問が複数上がるなど、その関心の高さがうかがえました。



寺田篤人
前 車両制御技術研究部
駆動制御研究室
研究員

開催地のモントリオールは、カナダの東海岸ケベック州最大の都市で、カナダ国内ではトロントに次ぐ2番目に大きな都市です。観光地として有名なノートルダム大聖堂を有する旧市街地区の景観がとても美しく、治安に関しても現地に住む日本人からは日本よりも良いのではといわれるほどです。またモントリオールは地下鉄の駅に商業施設が隣接した場所が多く、中にはとてもおしゃれな場所もあり、フランス語圏らしさを垣間見ることができました。

正式名称：Vehicle Power and Propulsion Conference 2015
 開催国：カナダ(ケベック州モントリオール)
 期間：2015/10/19-22
 主催：IEEE-VPPC Organizing Committee
 開催頻度：1回/1年
 次回開催予定：2016/10/17-20
 中華人民共和国 杭州市 国立浙江大学
 ホームページURL：<http://www.vppc2016.org/>